

令和7年度対話の広場(横須賀三浦会場)
「移住・定住促進～「半島で暮らす」魅力を高める～」
いただいたご意見等への対応状況等

【対応区分】

- A: “対話の広場”をきっかけに、新規の計画・事業を検討する(対応する方向である)
 B: “対話の広場”をきっかけに、既存の計画・事業の見直し等を行う(対応する方向である)
 C: “対話の広場”開催時点にて、既に実施している(既に対応している)
 D: 特に対応を予定していない。

参加者No.	関係所属名	参加者からの主な意見等	対応区分	対応状況(R8.3.23時点)
1	政策局 (地域政策課)	「移住、定住」とあるが、現状は、横浜や川崎といった、大都市に住みたい人が集中すると思う。そうなったとき、横須賀や葉山、逗子、三浦に定住、移住してもらうには、何かしら、私たちからのアプローチが必要だと思う。横須賀に東京都の方から移住してもらうには、どうしたらいいのか。	C	三浦半島魅力最大化プロジェクトでは、特に東京23区からの転入者を増やすため、他の地域では体験することができない「半島ライフ」の提案等による関係人口の創出を図るとともに、移住・定住の促進に取り組んでいます。
6	福祉子どもみらい局 (次世代育成課／青少年課)	現在日本は人口が減少していて、将来的に、東京都でさえ人口が減ってしまうという状況で、三浦半島の人口を増やすことは実際には難しいことではないか。知事として、県として、今、人口増加のために力を入れていることは何か。	C	本県では、少子化対策につながる取組として、結婚支援事業を行っています。具体的には、県内各地で婚活イベントの実施、市町村と連携し新婚世帯への家賃・引越費用等の補助、市町村等の結婚支援の取組を支援する結婚支援コンシェルジュの配置などです。 また、「かながわ子育てパーソナルサポート」などデジタル技術を活用し、地域コミュニティの希薄化による子育て世帯の不安を解消するとともに、社会全体で子育てを応援する支援策も進めていきます。 このように、戦略に掲げた取組を県民や企業、市町村とも共有し、オール神奈川で一丸となって、出生率の向上を目指してまいります。